

動物用医療機器 理学診療用器具
一般医療機器 超音波画像診断装置 (20806)

Clarius HD3 Vet 超音波スキャナー

【禁忌・禁止】

<適用対象(患者)>

眼球へ適用しない。[眼球への適用を意図しておらず、過大な超音波出力により、白内障、眼構造の損傷等、重篤な健康被害を及ぼすおそれがある。]

【形状・構造及び原理等】

1. 概要

本品は、超音波を用いて体内の形状、性状または動態を可視化し、得られた画像情報を診断するための、超音波プローブ一体型の体外式超音波画像診断装置である。また、本品の制御および画像表示は、汎用 IT 機器で行う。汎用 IT 機器で使用するプログラムは、インターネットを介して提供される。

2. 構成

1) 超音波スキャナー本体

No.	名称	走査方式
(1)	Clarius スキャナー C3 HD3 Vet	コンベックス
(2)	Clarius スキャナー C7 HD3 Vet	マイクロコンベックス
(3)	Clarius スキャナー L7 HD3 Vet	リニア

2) 構成部品

No.	名称
(1)	Clarius 充電器 HD3
(2)	AC アダプタ
(3)	マイクロ USB ケーブル
(4)	ソフトウェア

3) 付属品

No.	名称
(1)	Clarius パワーファン HD3

3. 形状

1) 超音波スキャナー本体

No.	名称	寸法 (mm)
(1)	Clarius スキャナー C3 HD3	146 x 32 x 76
(2)	Clarius スキャナー C7 HD3	151 x 32 x 76
(3)	Clarius スキャナー L7 HD3	147 x 32 x 76

2) 構成部品

No.	名称	寸法 (mm)
(1)	Clarius 充電器 HD3	95 x 51 x 70
(2)	AC アダプタ	71 x 41 x 32
(3)	マイクロ USB ケーブル	1,200/1,500

3) 付属品

No.	名称	寸法 (mm)
(1)	Clarius パワーファン HD3	76 x 56 x 41

4. 外観



5. 電気的定格

1) 超音波スキャナー本体

内蔵バッテリー稼働時	定格電圧	3.6 VDC
	定格容量	3500 mAh
Clarius パワーファン HD3 接続時	電源電圧	100-240 VAC
	電源周波数	50-60 Hz
	電源電流	0.45 A

2) Clarius 充電器 HD3

電源電圧	100-240 VAC
電源周波数	50-60 Hz
電源電流	0.45 A

6. 機器の分類

電撃に対する保護の程度による分類	超音波スキャナー本体	クラス II (内部電源機器)
	Clarius 充電器 HD3	クラス II
	Clarius パワーファン HD3	クラス II
電撃に対する保護の程度による装着部の分類	超音波スキャナー本体	BF 形装着部
水の有害な侵入に対する保護の程度による分類	超音波スキャナー本体	IP67
	Clarius 充電器 HD3	IP00

7. 無線

- ・ Wi-Fi 802.11 a/b/g/n、2.4GHz と 5GHz いずれかの周波数帯
- ・ Bluetooth LE 4.1

8. 原理

本品は、超音波スキャナー本体および画像表示用プログラムをインストールした汎用 IT 機器と共に使用する。超音波スキャナー本体のトランスデューサー(振動子)に電圧を印加し、超音波ビームを人体に向けて照射する。ビームフォーマーは、超音波の照射パターンを制御し焦点を絞る。生体から反射したエコーを同じまたは別の振動子で受信する。反射音響信号は、プロセッサによって電気信号に変換され、無線で汎用 IT 機器に送信された後、汎用 IT 機器に描写される。

【使用目的又は効果】

超音波を用いて動物体内の形状、性状または動態を可視化し、得られた画像情報を診断のために提供する。

取扱説明書を必ずご参照ください。

<使用目的又は効果に関する使用上の注意>
本品は、心臓への直接接触は意図していない。

【使用方法等】

1. 使用前の準備

- 1) 汎用 IT 機器が、次のシステム要件を満たしていることを確認する。

OS	Android™ 5.0 (API 21) 以上または Apple iOS 11.0 以上
プロセッサ	デュアルコアプロセッサ (CPU) ARM ベースの CPU アーキテクチャ (Android™ ベースの機器用)
メモリ	512 MB
ネットワーク	Bluetooth LE v4.0 以上対応 Wi-Fi 802.11n および Wi-Fi Direct 対応
ストレージ	8 GB (オンボード)
ディスプレイ	解像度 960 x 640 または 640 x 960 ピクセル コントラスト比 800:1 OpenGL ES 2.0 対応

- 2) 汎用 IT 機器で App Store または Google Play ストアにアクセスする。
- 3) Clarius 超音波スキャナー用アプリを検索する。
- 4) 画面の指示に従ってインストールする。
- 5) アプリを起動し、アカウントを作成する。
- 6) サインインする。
- 7) スキャナー本体と汎用 IT 機器を無線で接続する。

2. 使用中の操作

- 1) 超音波用ジェル (本申請外) をプローブに塗り、スキャンする。
- 2) 血液・体液・粘膜に接触する場合は、プローブカバー (本申請外) を使用する。
- 3) スキャン時間が 15 分を超える場合は、「5. Clarius パワーファン HD3」に従って Clarius パワーファン HD3 を接続する。

3. 使用後の洗浄・消毒

取扱説明書に従って、Clarius スキャナーHD3、Clarius パワーファン HD3、マイクロ USB ケーブル、Clarius 充電器 HD3 を、それぞれに対応する方法で洗浄・消毒する。

4. Clarius 充電器 HD3 による充電

スキャンするにあたり、バッテリー残量が足りない場合には、Clarius 充電器 HD3 もしくは Clarius パワーファン HD3 をセットアップして充電する。バッテリー残量は、アプリの表示を確認するか、スキャナーの LED の色により確認することができる。

LED の色	バッテリー残量
赤	0%-30%
橙	30%-65%
青	65%-95%
緑	95%以上

Clarius パワーファン HD3 による充電は、「5. Clarius パワーファン HD3」を参照。

- 1) Clarius 充電器 HD3 を洗浄し、消毒する。
- 2) マイクロ USB ケーブルを Clarius 充電器 HD3 に接続する。
- 3) マイクロ USB ケーブルを AC アダプタに接続する。
- 4) AC アダプタを電源プラグに接続し、Clarius スキャナーHD3 を Clarius 充電器 HD3 に置いて、充電を開始する。

5. Clarius パワーファン HD3

- 1) Clarius パワーファン HD3 の接続

- (1) Clarius パワーファン HD3 のロゴと Clarius スキャナーHD3 のロゴが互いの上部で合うように、Clarius パワーファン HD3 の上部を Clarius スキャナーHD3 の上部に合わせる。
 - (2) Clarius パワーファン HD3 の上部を Clarius スキャナーHD3 の上部にカチッと音が鳴るまで押し込む。
 - (3) Clarius スキャナーHD3 の温度が 35°C に達すると、自動的に Clarius パワーファン HD3 が作動する。
- 2) Clarius パワーファン HD3 の取り外し
 - (1) Clarius パワーファン HD3 の両側にあるロック機構を引っ張る。
 - (2) Clarius スキャナーHD3 から Clarius パワーファン HD3 を持ち上げて外す。
 - 3) Clarius パワーファン HD3 による Clarius スキャナーHD3 の充電
 - (1) Clarius パワーファン HD3 を洗浄し、消毒する。
 - (2) Clarius パワーファン HD3 を Clarius スキャナーHD3 に接続する。
 - (3) マイクロ USB ケーブルを Clarius パワーファン HD3 に接続する。
 - (4) マイクロ USB ケーブルを AC アダプタに接続する。
 - (5) AC アダプタを電源プラグに接続し、Clarius スキャナーHD3 の充電を開始する。

<使用方法等に関連する使用上の注意>

- 1) 超音波出力は、診断可能な範囲で、できる限り低レベルに設定すること。また、検査時間を短くする等の配慮をすること。
- 2) 本品は衝撃に弱く、容易に破損する可能性があるため、慎重に取り扱うこと。
- 3) 超音波の出力部の損傷を避けるため、取扱説明書に記載した超音波検査用ジェルを使用すること。不適切なタイプのジェルを使用したり、異なるタイプのジェルを組み合わせたりすることは、画質に影響を与えるおそれがある。
- 4) 感染や衛生の注意が必要な臨床環境で使用する場合には、必ずプローブカバーを使用すること。
- 5) 誤った適用タイプの設定を選択すると、患者に過剰な音響エネルギーが供給されるおそれがある。
- 6) 本品のソフトウェア以外のソフトウェアからの通知やアラートが操作者又は本品のソフトウェアを妨害し、検査に干渉する可能性がある。組織のセキュリティポリシーに従い、汎用 IT 機器を設定すること。
- 7) 穿刺針が画像で確認できない場合は、穿刺針の処置を行わないこと。
- 8) 穿刺針の画像が適切であることを確認すること。音響陰影やアーチファクトにより、超音波画像上で誤判断するおそれがある。
- 9) 除細動器と併用しないこと。性能の劣化や故障のおそれがある。

【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

- 1) 本品は防爆型ではないため、可燃性麻酔ガスや高濃度酸素等の可燃性および爆発性の気体環境下で使用しないこと。

取扱説明書を必ずご参照ください。

- 2) 本品は電磁両立性の規格に適合しているが、準備および使用方法の指示に従わない場合、他の機器に影響を及ぼすおそれがある。
- 3) 本品と接続する汎用 IT 機器以外の携帯電話等、電磁波を発生する機器を本品の側での使用は、装置に障害を及ぼすおそれがあるので使用しないこと。
- 4) 本品は、汎用 IT 機器と通信するために無線を使用する。無線通信は、深刻な気象条件や電波干渉の影響を受けるおそれがある。このような環境下で、本品の安全性が低下することはないが、表示される画像にノイズやアーチファクトが見られる場合がある。
- 5) 超音波検査でペースメーカーの動作を妨げる可能性は低いが、潜在的な危険に注意し、ペースメーカーに干渉していることが分かった場合、本品の使用を止めること。
- 6) 本プローブ（特にエンドキャピティ用）を使用する際には、プローブカバーを使用する等、体液接触による感染防止に努めること。
- 7) 不正確な画像が生成される可能性があるため、以下の状況で本品を使用しないこと。
 - (1) 検査する組織の変形を伴う手術を行った患畜。測定した密度を歪ませる又は変化するおそれがある。
 - (2) 検査する組織に異物（インプラント等）のある患畜。
 - (3) 外科的切開部又は骨孔等への使用
 - (4) 開放創への使用。
 - (5) 医療施設へ患畜搬送中又は医療施設の移送中。
 - (6) 医療施設以外での緊急時。

<妊婦、産婦、授乳婦及び小児等への適用>

妊婦、妊娠の疑いのあるもの及び小児へ使用する場合は医師の指示のもとで慎重に行うこと。

【保管方法及び有効期間等】

<保管の条件>

- 1) 温度：-20℃～50℃
- 2) 湿度：0%RH～95%RH

本品は高温多湿や直射日光を避け、水濡れに注意し、清潔な場所に保管すること。

<耐用期間>

5年 [自己認証（当社データ）による]

【保守・点検に係る事項】

<使用者による保守点検事項>

取扱説明書に従って、使用前後に洗浄と消毒を行う。洗浄・消毒の際には、イソプロピルアルコール、メチルエチルケトン、シンナー、その他強力な溶剤や研磨剤を使用せず、取扱説明書で指定されている洗浄剤と消毒剤を使用する。

<業者による保守点検事項>

動作に不具合が見られる場合には、製造販売業者に連絡する。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者	AJMD 株式会社
電話番号	03-5614-0733
製造業者	Clarius Mobile Health Corp.
国名	カナダ

取扱説明書を必ずご参照ください。